

短い言葉のもつ力

副校長 井上 由美

充実の秋がいよいよ本番の時期となりました。子供たちは11月に行われる
展覧会の作品づくりに一生懸命に取り組んでいます。展覧会の作品づくりもい
よいよ大詰めです。11月8日、9日の展覧会では、ご来校いただき子供たち
の力作をぜひご覧いただけましたら幸いです。

先日10月20日には、よい天気のもとPTA祭が行われました。コロナの
影響で見送っていた飲食のお店も、今年度ついに復活しました。PTAの皆様
をはじめ、ご協力いただいた保護者や地域の皆様、木工体験を行ってくださっ
た東京土建の皆様、たくさんの方々の工夫とご尽力のおかげで、多くの子供た
ちやお客さんが来校し大盛況でした。本校のPTA、保護者、地域の皆様、本
当にありがとうございました。

さて、本一色小の子供たちを見ていると「あいさつ」がとてもすばらしい子
供たちだなあと、日々感じています。登校したときや廊下などですれ違った時
なども、すすんであいさつや声掛けをしてくれます。そのおかげで、子供たち

から元気をもらっているなあといつも実感
しています。来校した方を見ると元気にあいさつ
できる子も多いです。その良さをさらに伸ばし
すすんであいさつすることを続けていってほ
しいと願っています。あいさつや言葉は、より
よい人間関係を築くうえでとても大切です。ま
た、あいさつや言葉には、短くても人を元気に
したり笑顔にしたりする不思議な力があ
ります。私が担任をしていた頃、教室に掲示してい
つも子供たちと一緒に読んでいた詩があるの
ですが、とても好きな詩なので紹介したいと思
います。「一秒の言葉」という詩です。この詩
は、一秒ほどの短い言葉であっても、想像以上
に相手に喜びを与えたり、深い悲しみを与えたり
しているということを表していると思いま
す。忙しい日々の中で、つきつい言葉をかけ
てしまったなどということは誰にでもあるも
のだと思います。しかし、言葉のもつ意味や重
みを、日々の生活の中で感じながら過ごせたら
すばらしいことだと思います。例えば、「いつ
もありがとう」「頑張ったね」「一緒に考えよ
うね」などの言葉を子供たちにかけていただけ
ると子供たちは安心し、自己肯定感を育むこと
にもつながると思います。ぜひご家庭でも一秒
の言葉を大切にしていただけたら嬉しいです。

今の学年も振り返り地点を過ぎました。相手
を思いやり笑顔にしたりできるあいさつ
や言葉をたくさん使って、学校生活を過ごす
ことができるよう指導を続けていきたいと思
います。

一秒の言葉

(小泉吉宏)

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に
一生のときめきを感じるこ
とがある

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に
人の優しさを知ることがある

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で
勇気がよみがえってくるこ
とがある

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で
幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に
人の弱さを見ることがある

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が
一生の別れになることがある

一秒に喜び、一秒に泣く
一生懸命、一秒